

佐賀・長崎地区8月線状降水帯豪雨に思う。

8月28日早朝の線状降水帯が北部九州を横断した。

前夜の大村の公式訪問中、雨が降り始めていたが、早朝5時、豪雨の音に思わず目が覚めた。

TVでは佐賀長崎大分の状況を放映していた。

直ちに、12時からの佐賀空港RC、夜の佐賀北RCの公式訪問ができるかな？と思い、大石地区幹事にメールした。

佐賀北RCはすぐに中止が決まったが、佐賀空港RCはガバナーが来られるなら。とのこと。高速道路、JR、高速

バスの運休がTVで知らされていた。長崎から佐賀への交通遮断。行けない。

やがて、佐賀空港RCからも中止の知らせが届いた。

豪雨のために国道23号線と周囲の田んぼ、河川との境がわからなくなり、交通が遮断され、車が道路?田んぼ?に

取り残され、その内、運転者が溺水しているとのこと。

大変なことになっている。先日公式訪問したばかりの、武雄RC,大町RCの会員がいる地区である。

幾人かの会員の顔が浮かんだ。元気かな？

さらには大町町の鉄工所から流失した工業用油と一緒に氾濫した雨水で1キロ下流の順天堂病院が孤立しているとの

報道であった。29日予定の佐賀RCも延期が決定した。

その日のうちに全国のガバナー会の皆様から、お見舞いのメールが殺到した。その後、何もできずに2日間を過ごした。

こんな時に過去のガバナーはどうしたのだろうか？私は今、どう行動したらよいのだろうか？と自問を繰り返した。

3日目の8月30日雨も小降りになったので、被災地を先ずは訪問してみようと思ひ、思いきって第3グループの

平岡清宏ガバナー補佐にお電話した。快く「お待ちしております。」とのご返事をいただいた。

平岡ガバナー補佐の会社がある武雄に向かった。途中武雄南と武雄北の合流点の地滑りで高速道路が通行止めになっていた。

迂回して武雄北ICで高速道路を下り、会社まで一般車両が数珠つなぎののろのろ運転。やっと、平岡Gの会社に到着した。

平岡G補佐が早速、災害の現状を見せる為、案内することになった。

会社を出るとすぐに、「左右の道路わきを見てください。」と言われた。道路脇は家庭や会社から出た被災ゴミ・家具などが

うずたかく積まれていたが、一齐にごみ集積場に集められ、ずいぶんきれいになったところとのこと。でも道路は黄土色の

土とまだ捨てきれない家庭ごみが残っていました。被災建物は一様に浸水線を示す土がつており、人々が清掃に必死になって

いた。

道路では前方を走る車は自衛隊の災害救援車両との幕。災害ごみを山のように積んだ車両。道路の商店、スーパー、食堂等

すべて休業中、後片付けに追われ商売どころではない。車でいっぱい駐車場は清掃をすべて支援しているボランティアの人

の車とのこと。

佐賀平野は地形的に有明海の海面と大差がない位置にある。だから、排水の為の排水設備や満水逆流の為の水門が各地にある。

だから、武雄市内全体が道路より低い位置にあり、広いすり鉢状の形態をしている。だから、豪雨の為、膝くらいの高さで

市内一帯がすべて浸かったのである。朝倉の豪雨水害は山やがけの崩落とそれに伴う家屋の崩壊、流失であった。

今回の災害はむしろ市街地の浸水被害で、それも短時間で起こった災害である。

順天堂病院も案内していただけることになり、途中の道は災害支援車で渋滞。あと片付けのボランティアが必至で清掃や廃物

の処理にあたっていた。

「ここも、そこもロータリアンの会社、店と、わかっているだけでも約15名以上いるだろう。」救われるべき中にロータリアン

がいることに驚いた。TVでは知りえない現実を平岡G補佐から教えて頂いた。ついで、順天堂病院も訪問した。周囲はまるで湖。

救助ボートが数隻。国土交通省の排水ポンプ車、自衛隊の災害派遣車、消防車等。病院の周囲には油のにおい。石垣や壁には水位

を示す跡が残っている。油を除去するための作業。官民一体となった支援活動。私はロータリーが救済の手を差し伸べるにはどう

したらいいのか？と答えを探しに来たのに、「災害支援には、今は人手がほしい」これが現場である。

平岡G補佐は事前に現地を調べておいておられました。「ロータリーの支援として今何をすべきか？の答えはすぐには出ない。

募金を渡されても何の目的で、何にどう配分するか？わかりません。」と答

えられました。

奉仕活動がロータリーの役目とは言え、突然降ってわいた天災へ対応すべき方法に戸惑っている。問題が起きたらその答えは

現場にしかない。そこで、答えを出す為に、現地を見る。会員と市民にとって必要な支援を考える。現地クラブと連絡することとした。

今日8月31日からボランティア受付が始まりました。

ロータリークラブ、ロータリアンの企業、家族のボランティアを派遣する方法。時間経過後の必要な支援を見つける方法。

被災で破損した介護施設・病院・児童施設の用品を提供する方法。

とりあえず募金を集めグループ内クラブへ提供する方法。

皆さん！他にありませんか？

とりあえず、地区に募金受け入れ用口座を開設し、募金活動からはじめることとします。

今こそ、ロータリーって何？の答えを出すべき時である。ロータリー真価が問われている。

「他人のことを思い、他人の為に尽くす」（奉仕の理念）

「被災された市民のことを思い、被災された市民の為に尽くす」

この理念が必要でしょう。

国際ロータリー第2740地区

ガバナー 千葉 憲哉